MA1703-A
© 2017 CASIO COMPUTER CO., LTD.

Network Connection操作ガイド

- 本書はお読みになった後も大切に保管してください。
- 本書の最新版は下記ウェブサイトに公開されております。
  http://world.casio.com/manual/projector/

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本製品使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理などに起因するデータの消失による、損害および逸失利益などにつきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に使用されている表示画面は、取扱説明書用に特別に作成されたもので、一部、実際の製品と異なることがあります。

CASIO

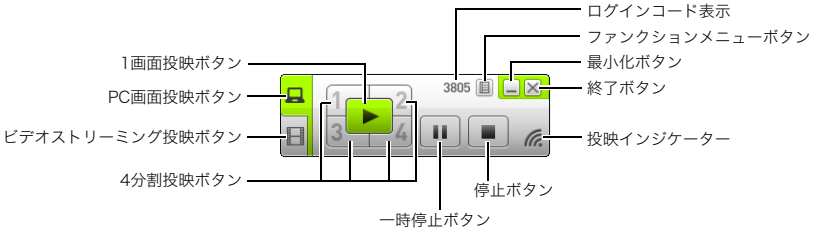
Network Connectionは、プロジェクターとパソコンをLAN接続したり、プロジェクターとLAN接続されたパソコンのディスプレイ映像や動画、音声をプロジェクターに転送したりするためのアプリケーションです。

重要

- 以下の説明は、プロジェクターとパソコンがすでにLAN接続済みで、パソコンの画面がプロジェクターから投映されていることが前提です。ここでの操作を行う前に、「LAN接続でパソコンの画面を投映する」(別冊の「ネットワーク機能ガイド」を参照)の説明に従ってプロジェクターとパソコンをLAN接続しておいてください。

Network Connectionウィンドウ

プロジェクターとパソコンがLAN接続中のとき、Network Connectionウィンドウは次のような表示になります。



メモ

- 本書中のNetwork Connectionウィンドウ、表示画面、および表記は、すべてWindows版のものです。Mac OS版では異なる場合があります。

Network Connectionの各種操作

Network Connectionのボタン操作

プロジェクターとパソコンがLAN接続中のとき、Network Connectionウィンドウの各ボタンを使って、次の操作が可能です。

これをするには:	このボタンをクリックする:
プロジェクターの投映画面全体を使ってパソコン画面を投映する(1画面投映)	(1画面投映)
プロジェクターの投映画面の4分の1を使ってパソコン画面を投映する(4分割投映)	4分割投映ボタンのいずれか1つ (1、2、3、4)*1
パソコンから投映中の画面をフリーズする (画面を一時的に静止させる)/フリーズを解除する	(一時停止)
手元のパソコン画面表示はそのままにして、プロジェクターから動画を投映する (ビデオストリーミング投映)	(ビデオストリーミング投映) 詳しくは「ビデオストリーミング投映を行う」(6ページ)を参照してください。
パソコン画面の投映を終了する	(停止)
Network Connectionを終了する	(終了)

*1 クリックした4分割投映ボタンの番号(1〜4)に応じて、投映画面を4分割した左上(1)、右上(2)、左下(3)、右下(4)の位置にパソコン画面が投映されます。



Network Connectionのファンクションメニュー操作

プロジェクターとパソコンがLAN接続中のとき、Network Connectionのファンクションメニュー（ファンクションメニューボタンをクリックすると表示されるメニュー）の各項目を使って、次の操作が可能です。

これをするには：	このファンクションメニュー項目を選ぶ：	参照先：
投映画面の画質よりも表示速度を優先する*1	[投映設定]→[高速]	–
投映画面の表示速度よりも画質を優先する*1	[投映設定]→[高画質]	–
パソコンの音声をプロジェクターのスピーカーから出力する	[音声出力]	「パソコンの音声をプロジェクターのスピーカーから出力する」（5ページ）
メイン画面の投映から拡張画面の投映に切り替える*2	[投映画面の選択]→[拡張画面]	–
拡張画面の投映からメイン画面の投映に切り替える*2	[投映画面の選択]→[メイン画面]	
Network Connectionが起動中のパソコンを、スマートデバイスからリモート操作する	[PCリモート]	「スマートデバイスからパソコンをリモート操作する（PCリモート）」（7ページ）
プロジェクターのネットワーク設定を行う	[管理画面]	「プロジェクター管理ページを使う」（別冊の「ネットワーク機能ガイド」を参照）
LAN接続でプロジェクターをリモート操作する	[管理画面]	「LAN接続でプロジェクターをリモート操作する」（別冊の「ネットワーク機能ガイド」を参照）
別のプロジェクターに無線LAN接続し直す	[サーバ検索]	「現在の無線LAN接続を切断して無線LAN接続し直すには」（8ページ）
USBメモリーにNetwork Connectionのコピーを作成する*1	[トークンウィザード]	「トークンウィザードを使う（Windows版のみ）」（9ページ）
Network Connectionの起動時に、パソコンをアクセスポイントに自動接続する*3	[WiFi自動接続]	–
Network Connectionが記憶している接続先情報（パスフレーズ）を消去する*1	[初期化]	「Network Connectionが記憶している接続先情報（パスフレーズ）を消去するには」（8ページ）
LAN接続中のプロジェクターのIPアドレスとログインコードを表示する	[情報]	–
Network Connectionのバージョン情報を表示する	[このソフトウェアについて]	–
Network Connectionを終了する	[終了]	–

*1 Mac OS版は対応していません。

*2 Windows 8/8.1/10、Mac OSでは、これらの機能を有効にするためのドライバーソフトウェアをインストールする必要があります。「追加ドライバーソフトウェアについて」（5ページ）を参照してください。

*3 Windows版は対応していません。

パソコンの音声をプロジェクターのスピーカーから出力する

LAN接続でパソコン画面をプロジェクターから投映しているときは、パソコンの音声もプロジェクターのスピーカーから出力させることが可能です。

- パソコンの音声をプロジェクターのスピーカーから出力するには、Network Connectionのファンクションメニューから[音声出力]を選び、このメニュー項目にチェックを付けます。
  このとき、パソコンのスピーカーからの音声出力はミュートされます。
- もう一度Network Connectionのファンクションメニューから[音声出力]を選んでこのメニュー項目のチェックを外すと、パソコンの音声はプロジェクターのスピーカーからでなく、パソコンのスピーカーから出力される状態に戻ります。



メモ

- Network Connectionの起動時は、常に[音声出力]メニューのチェックは外れた状態となります。

追加ドライバーソフトウェアについて

Network Connectionの一部の機能を利用するには、下記のドライバーソフトウェアのインストールが必要です。入手方法は、弊社ウェブサイト(http://casio.jp/support/projector/)にてご確認ください。

この機能を利用するには:	このドライバーソフトウェアをインストールする:
拡張画面出力機能	VDD ドライバー(Windows 8/8.1/10用) Syphon-Virtual-Screen*1(Mac OS用)
音声出力機能	Sound Flower*1(Mac OS用)

*1 Network ConnectionをMac OSにインストールする際に、Syphon-Virtual-ScreenおよびSound Flowerをインストールするかどうかの選択ダイアログが表示されます。拡張画面出力機能および音声出力機能を利用したい場合は、必ず「はい」を選択してください。「スキップ」を選択すると、これらの機能は利用できません。

ビデオストリーミング投映を行う

Network Connectionで動画を再生し、その再生映像をプロジェクターにLAN経由で送信します。投映画面には動画の再生映像だけが表示され、手元のパソコン画面は通常のデスクトップとNetwork Connectionウィンドウが表示されたままになります。

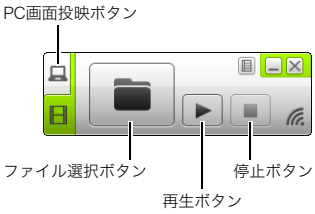
再生可能ファイル一覧

AVI：最大20Mbps 720/30P（MJPEG映像、ADPCM音声）
MOV：最大20Mbps 1080/30P（H.264映像、ADPCM音声またはAAC音声）
MP4：最大20Mbps 1080/30P（H.264映像、AAC音声）

ビデオストリーミング投映を行うには

1. Network Connectionウィンドウの（ビデオストリーミング投映）をクリックする。

- Network Connectionウィンドウの表示が次のような内容に切り替わります。



2. （ファイル選択）をクリックする。

3. ファイル選択ダイアログが表示されるので、再生したい動画ファイルを選択し、[開く]をクリックする。

- 選択したファイルの再生が開始され、プロジェクターの全画面を使って動画が投映されます。

4. 再生を停止するには、（停止）をクリックする。

5. 通常のパソコン画面の投映に戻るには、（PC画面投映）をクリックする。

メモ

- 手順4で再生を停止した後で同じファイルを先頭から再生するには、（再生）をクリックします。
- ビデオストリーミング投映は、常に投映画面の全体を使って行われます。通常のパソコン画面を投映する場合のように、投映画面を4分割した一部に投映することはできません。
- ビデオストリーミング投映時は、動画の音声は常にプロジェクターから出力されます。

スマートデバイスからパソコンをリモート操作する(PCリモート)

Network Connectionが起動中のパソコンを、スマートデバイスからリモート操作することが可能です。

重要

- この操作を行うには、ご使用のスマートデバイスにC-Assist(別冊の「ネットワーク機能ガイド」を参照)をインストールしておくことが必要です。

PCリモートを開始するには

1. **「プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続する」(別冊の「ネットワーク機能ガイド」を参照)の操作を行う。**

2. **スマートデバイス上でC-Assistを起動し、次の操作を行う。**
   (1)プロジェクターにログインする。
   (2)PCリモートの待機状態にする。

3. **Network Connectionウィンドウの をクリックし、表示されるメニューから[PCリモート]を選んで、[PCリモート]にチェックを付ける。**
   - スマートデバイスのタッチスクリーンに、パソコン画面の表示内容が現れます。
   - この状態で、スマートデバイスのタッチスクリーンを使ったパソコンのマウス操作、およびスマートデバイスのタッチスクリーン上に表示したキーボードを使った入力/編集操作が可能です。

4. **スマートデバイスからパソコンを操作する。**

PCリモートを終了するには

Network Connectionウィンドウの をクリックし、表示されるメニューから[PCリモート]を選んで、[PCリモート]のチェックを外します。

その他のNetwork Connection操作

現在の無線LAN接続を切断して無線LAN接続し直すには

1. **Network Connectionのファンクションメニューから[サーバ検索]を選ぶ。**
   - 現在の無線LAN接続が切断され、投映画面はLAN接続の待機画面に戻ります。
2. **「プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続する」(別冊の「ネットワーク機能ガイド」を参照)の操作を行う。**

Network Connectionが記憶している接続先情報(パスフレーズ)を消去するには

1. **Network Connectionのファンクションメニューから[初期化]を選ぶ。**
2. **初期化の確認ダイアログが表示されるので、初期化するには[OK]を、初期化をやめるには[キャンセル]をクリックする。**
3. **Network Connectionを再起動する。**

メモ

- 上記の操作を行うと、プロジェクターとパソコンの無線LAN接続は切断されます。無線LAN接続し直すには、「プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続する」(別冊の「ネットワーク機能ガイド」を参照)の操作を行ってください。

トークンウィザードを使う(Windows版のみ)

Network Connectionの「トークンウィザード」を使うと、USBメモリーにNetwork Connectionのコピーを作成することができます。Network Connectionをインストールしていないパソコンでも、このUSBメモリー(「USBトークン」と呼びます)を接続すれば、Network Connectionの利用が可能となります。複数台のパソコンをプロジェクターと無線LAN接続したい場合は、USBトークンを用意することをお勧めします。

USBメモリーにNetwork Connectionをインストールするには

重要

- 次の操作によってUSBメモリーにNetwork Connectionをインストールすると、USBメモリーのルートディレクトリに"autorun.inf"(Network Connectionの自動再生ファイル)が作成されます。もしUSBメモリーのルートディレクトリにすでに同名のファイルが存在した場合は、既存のファイルのファイル名の末尾に".bak"または3桁の番号(".001"、".002"…)が付加されます。
- 次の操作によってUSBメモリーにNetwork Connectionをインストールすると、USBメモリーの名前が「USB Token」に変更され、アイコンが に変更されます。

1. Network Connectionウィンドウの をクリックし、続いて[トークンウィザード]をクリックする。

- トークンウィザード画面が表示されます。

2. [次へ>]をクリックする。

- USBドライブの選択画面が表示されます。
- パソコンにUSBメモリーが接続されていない場合は、「USBメモリーを検出できませんでした」というメッセージが上の画面上に表示されます。この場合はパソコンにUSBメモリーを接続し、「USBドライブ」欄にUSBメモリーのドライブ名が表示されるまでお待ちください。

3. パソコンに複数のUSBメモリーが接続されている場合は「USBドライブ」欄右端の[▼]をクリックし、インストール先のドライブ名を選択する。

4. [次へ>]をクリックする。

- 指定したUSBメモリーにNetwork Connectionがインストールされます。インストールが完了すると、「ウィザードは正常に終了しました。」という画面が表示されます。

5. トークンウィザード画面を閉じるには、[完了]をクリックする。

USBトークンを使ってパソコンをプロジェクターに無線LAN接続するには

USBトークンをパソコンのUSB端子に接続し、USBトークン内のNetwork Connectionアイコンをダブルクリックして起動します。後の操作は、パソコンにインストールされたNetwork Connectionを使う場合と同様です。